

処理のしくみ

【埋立処分地】

処分地全面に遮水シート（合成ゴム製）を張り、浸出水を確実に集水し、公共の水域や地下水を汚染しないようにしています。搬入された廃棄物は覆土することによって衛生的に埋め立てられます。集水された浸出水は浸出水処理施設に送られます。

【調整槽設備】

浸出水を調整槽及び調整池（10,000 m³）に一旦貯留して、台風等の大雨に備えるとともに、原水の水質・水量の変動を緩和し一定量を浸出水処理施設へ送ります。

【生物処理設備】

接触曝気方式を採用しており、水槽内の充てん材表面に付着した微生物の働きにより、原水中の有機汚濁物質及び窒素分を分解します。

【凝集沈殿処理設備】

汚水中に薬品を添加することにより、COD物質、浮遊物質及び重金属などを除去します。

【砂ろ過・活性炭吸着設備】

微細な浮遊物質を砂による複数のろ過層で捕捉し、さらに活性炭の強力な吸着力によってCOD物質や色度を除去します。

【滅菌設備】

最終仕上げとして処理水に塩素滅菌を行います。

【監視設備】

地下水をサンプリングして水質の変化を監視しています。



凝集沈殿処理設備、他



砂ろ過・活性炭吸着処理設備



薬品注入設備



動力制御盤



ポンプ設備



ブロフ設備

流入水質	
BOD	250mg / ℓ
S S	300mg / ℓ
COD	100mg / ℓ
T-N	100mg / ℓ

放流水質	
BOD	10mg / ℓ 以下
S S	10mg / ℓ 以下
COD	20mg / ℓ 以下
T-N	10mg / ℓ 以下
P H	5.8 ~ 8.6
色度	30度 ℓ 以下
大腸菌数	1000個 / mℓ

浸出水処理施設
フローシート

